



レノファ山口FC

## 『人生の先輩からのエール』企画 1/2



### Story

レノファ山口FCは、ホームタウンである山口県が直面する、人口急減・超高齢社会といった大きな課題に対し、問題意識をもち、シャレン活動に取り組んできた。2020年12月、サントリーウェルネス株式会社から、「認知症の“予防”や、高齢者や認知症の方との“共生”」を目的に、地域に根差したJリーグと協同でプロジェクトを実施したいとの話があった。住み慣れた場所で生活を続けていくため、地域と地域を繋ぐ交流人口を創出・拡大する取組はクラブ理念とも繋がり、新たな関係性や価値を生み出す流れになると共感し、プロジェクトに参加することとなった。実施するプロジェクト内容について、レノファ山口FCサポーター団体「ヤマグチスタ」、レノファ山口FC公認ボランティア「TeamBONDS」へ共有したところ、趣旨に共感いただき、プロジェクトを主導したいと返答いただく。高齢者や認知症の方など、普段は周囲に「支えられる」機会の多い方が、サッカークラブの“サポーター”となることで、クラブや地域を「支える」存在になっていければと、「人生の先輩からのエール」というプロジェクトを実施することとなった。具体的には、先輩の定義を、当時の監督よりも年上の方とし、山口県内19市町に在住の方々から、「人生において、どうやって苦境に向き合い、乗り越えていったらよいか？」という問いに対して

のメッセージを横断幕に記入いただく。そして、記入いただいた特別な横断幕を2020シーズンの最終戦に掲げさせていただくセレモニーを実施。プロジェクト実施にあたって、クラブとのつながりのある、自治体やパートナー企業、各市町の高齢者施設へ呼びかけ、メッセージを集めた。ご協力いただいた高齢者施設の職員の方から、普段は口数の多くない入居者さんがメッセージを書きながら、昔の話を楽しそうにする姿がとても印象的だったとの話をいただいた。メッセージを書くという作業がきっかけで、昔を振り返り、いきいきした気持ちをとりもどしたり、周囲の方との会話のきっかけになったりする場面が多数見られた。また、メッセージを記入してもらった横断幕が選手ロッカーに掲載されてある様子や、メッセージを読んだ選手がピッチでプレイをする様子、選手がセレモニーで横断幕掲げている様子をたくさんの観客の方に見ていただいている様子をご覧になって、誇らしい表情をされていた。今回の「人生の先輩からのエール」企画をスタートとして、高齢者や認知症の方など、普段は周囲に「支えられる」機会の多い方が、サッカークラブの“サポーター”となることで、クラブや地域を「支える」存在となっていけるよう、プロジェクトを継続していく。

活動詳細情報はこちら



<http://www.renofa.com/archives/67440/>



レノファ山口FC

## 『人生の先輩からのエール』企画 2/2



### 活動場所

維新みらいふスタジアム

### カテゴリー(SDGs)/取り組みテーマ



### 協働者

企業、住民

### 協働者名

サントリーウェルネス株式会社、  
レノファ山口FCサポーター団体「ヤマグチスタ」、  
レノファ山口FC公認ボランティア「TeamBONDS」

